



## 東海大学チャレンジセンター

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

MAIL challenge@tsc.u-tokai.ac.jp TEL 0463-50-2504(直) FAX 0463-50-2472

WEB <http://www.u-tokai.ac.jp/challenge/> もしくは 東海大学チャレンジセンター 検索



東海大学 ● ● ●  
チャレンジセンター

Tokai University Student Project Center

2013

# チャレンジセンターとは社会から求められる 4つの力を育む成長の場です。



## 自ら考える力

常に未来を見据え、自らが取り組むべき課題を探求する力。

学習力

思考力

探求力

## 集い力

多様な人々の力を集結する力。

コミュニケーション力

関係構築力

アイデンティティ獲得

## 挑み力

困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力。

問題発見力

構想力

プランニング力

## 成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力。

行程管理力

実行と継続力

分析と修正力



みなさん 東海大学へようこそ！チャレンジセンターへようこそ！

大学での4年間というのは、人生のうちで最も華やいだ、自由を満喫できる時間だと思います。たくさんの楽しい思い出、そしてちょっぴりつらい経験…そんな人生の大切な宝物をチャレンジセンターで作りませんか？

学生時代を東海大学で、そしてチャレンジセンターで沢山の仲間と過ごしたことが、あなたのこれから的人生をきっと実り多いものとしてくれると信じています。素敵な仲間があなたを待っています。さあ、チャレンジセンターであなたの大きな夢を見つけてください。

チャレンジセンター所長 梶井 龍太郎



## チャレンジセンターは あなたの挑戦を応援します。

今、社会では自らの手で未来を切り開ける人材が最も必要とされています。学部の枠を越えて集まつた仲間たちとともに、ひとつの目標に向かって挑むチャレンジセンターでの体験を通して、あなたの新しい可能性を広げていきましょう。

## 理論

### チャレンジセンター科目

「自ら考える力・集い力・挑み力・成し遂げ力を身に付けることによって、建学の精神を培う」という教育理念のもとで、学部・学科単独ではできない、社会とのつながりの中での実践的な教育を行っています。



### 社会的実践力副専攻

目標を見つけ、計画を立て、実行する方法を体験的に学ぶための科目群（「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」「プロジェクト入門」「プロジェクト実践」など）を「社会的実践力副専攻」として開講しております。社会に出てから通用する実践力を身に付けます。

**集い力**  
[入門・演習A・演習B]

**挑み力**  
[入門・演習A・演習B]

**成し遂げ力**  
[入門・演習A・演習B]

**プロジェクト入門**  
[A・B・C]

**プロジェクト実践**  
[A・B・C・D]

自ら考える力  
集い力  
挑み力  
成し遂げ力

## 実践

### プロジェクト活動

チャレンジセンターのプロジェクトでは、ものづくりやボランティア、地域活性といった活動を、学部や学科、そして学年の枠を超えた学生たちが意見を出し合いながら、一緒に実践する中で成長していきます。



### チャレンジプロジェクト

学部・学科を横断する50名以上のメンバー（校舎によっては30名以上）で構成。学生が自由な発想で企画立案したプロジェクト活動です。



### ユニークプロジェクト

10名以上のメンバーで構成され、ユニークな企画内容を実施する計画を立て、多様な人々や組織との関係の中で、自分たちにとって独自の学ぶ価値を見出そうとする試みです。さらに、チャレンジプロジェクトへの発展が期待されます。



### ジャーナリズム副専攻・ジャーナリズム実践教育特定プログラム



より高度な実践力を身に付けるジャーナリズム実践教育のための科目群（「ジャーナリズム史」「メディア概論」「国際、政治、出版ジャーナリズム」など）を「ジャーナリズム副専攻」、「ジャーナリズム実践教育特定プログラム」として開講しています。公共的な価値に基づいて「情報を選別し、加工し、多くの人々へ提供する作業」を担う人材を育てます。

チャレンジセンター科目を詳しく知りたい! ▶ P.5

### 様々な分野での活動



プロジェクト活動では、「地域活性」、「国際交流」、「ものづくり」、「社会貢献」、「環境・農業」といったテーマをもとに、自らの力でプロジェクトを立ち上げ、多様な学生が集い、困難な課題に立ち向かい、共通の目的を達成するための活動を日々行っています。それらを乗り越え、プロジェクト活動を続けていく中で、今、社会が最も必要としている人間力、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を身に付けることができるのです。

プロジェクトの種類ってどんなものがあるの? ▶ P.9

## 社会的実践力副専攻

総合大学としての多様性を活かし、社会で通用する実践力を養います。

「気づき」を促すさまざまな演習を組み込んだ新しい授業として、学生が楽しみながら無理なく勉強できるように構成されています。授業を通して一般の科目やプロジェクト活動へのアプローチ方法を身につけるとともに、キャンパスライフにおいて自身がぶつかる様々な問題の解決方法を身に付けていきます。

### 挑み力【入門・演習A・演習B】

- 入門 【テーマ:クリティカルシンキングを身に付けよう】どのような問題に取り組む際にも有効な、良質の思考とも言われる訓練された思考を学習します。
- 演習A 【テーマ:チーム活動の中で課題設定力、行動計画策定能力を習得する】講義とグループ演習を組み合わせることで、体験的に学習していきます。
- 演習B 【テーマ:限界を超える力を身に付けよう!】「東海大学検定を作ろう」、「ギネス記録に挑戦」、2つの演習を用い、挑戦するプロセスから学びます。

### プロジェクト入門【A・B・C】

- 入門A 【テーマ:楽しい科学教材の開発】パソコンと基本的なソフトウェアを利用して、わかりやすい理科教材をグループで制作。模擬授業にて発表します。
- 入門B 【テーマ:ウォーキングを題材にした地域調査】実測データを用いて地域調査を行い、その結果を元に、各自がウォーキングコースを1つ提案します。
- 入門C 【テーマ:3Dテレビについて調べよう】3Dテレビはどんな技術が使われているのでしょうか？グループに分かれて調べまとめ、発表を行います。

### 集い力【入門・演習A・演習B】

- 入門 【テーマ:自己理解から始める「集い力」】「自己の特徴を知る」、「他者と関係を築く」、「コミュニケーションを改善する」の3つについて学びます。
- 演習A 【テーマ:調査の基礎】最初は自己紹介資料を作成・発表。その後、異文化に関する調査テーマ・項目を決定し、調査、データ集計、報告を行ないます。
- 演習B 【テーマ:ビデオ制作】グループワークとして、各グループで設定したテーマに従って、静止画を使ったビデオ作品を制作。クラス内で発表します。

### 成し遂げ力【入門・演習A・演習B】

- 入門 【テーマ:セルフマネージメントによって成し遂げ力について考える】講義やゲストスピーカーの話を通して、自分なりの考えをまとめていきます。
- 演習A 【テーマ:リーダーシップ開発】チームや組織が協働學習の中で、目標を成し遂げていくためのリーダーシップのあり方などを学んでいきます。
- 演習B 【テーマ:自分たちの活動を伝える展示の企画・計画・デザイン】基本的知識や技術を習得し、展示会の企画から、計画、デザインまでを行ないます。

### プロジェクト実践【A・B・C・D】

- 実践A 電気自動車の基礎知識を身につけることを目標としています。工学的な知識以外にもコミュニケーション能力や表現能力を、講義と演習を通じて身に付けています。
- 実践B 『留学生のための東海大学キャンパスガイド』を作成。今後、より留学生のニーズに合ったキャンパスガイドを作成するための検討を行なっています。
- 実践C 自然科学について子供たちや一般の人たちにわかりやすく、楽しく教えることができる、サイエンスコミュニケーターの基礎知識を身に付けることを目標としています。
- 実践D 秦野精華園の施設利用者が自立した社会生活を送れるようになることを目指し、パン製造と販売を通じて、施設内の就労機会を提供しています。

※2013年度の開講科目例

### 教員紹介



崔一英 教授 [社会的実践力]



岡田工 教授 [社会的実践力]



堀本麻由子 講師 [社会的実践力]



園田由紀子 講師 [社会的実践力]



山口勉 教授 [ジャーナリズム]



岩田伊津樹 教授 [ジャーナリズム]

## ジャーナリズム副専攻・ジャーナリズム実践教育特定プログラム

### ジャーナリストになる夢を応援

読売新聞東京本社との教育研究協定に基づき、東海大学の知的資源と、読売グループのメディア資源を結合して、「常に社会とつながっている、大学内で行われるジャーナリズム教育」を実現することを目的とする科目です。授業では、読売新聞東京本社のベテラン記者が、新聞社、通信社、放送局などのジャーナリストを目指す学生のために、取材の方法から記事の書き方まで具体的に指導します。



### 基礎となる知識科目

- メディア概論
- ジャーナリズム史
- マスコミ倫理

#### 一例

- 「メディアとは何か」「ジャーナリズムのあり方」を考えるための歴史的・理論的知識を習得
- ニュース報道する際の基本的なルール、法的な背景についての知識を習得

### 社会の動きをつかむ科目

- 専門分野  
(政治/経済/科学・医療/環境/文化・出版/ウェブ/スポーツ)
- 國際ジャーナリズムA/B
- 時事問題研究A/B

#### 一例

- 政治、経済、社会などの各分野におけるジャーナリズムの関わりを認識
- アメリカ、中国など世界の動きを客観的に把握

### 取材して伝える科目

- 論文作法
- 時事英語演習A/B
- 報道写真演習
- ジャーナリズム演習A/B
- ジャーナリズム・ゼミナールA/B

#### 一例

- 報道原稿のスタイルで文章を作成
- 企画報道の作業手順を習得
- 英文ニュース読解
- ジャーナリズムにおける写真報道の意義を理解

### 副専攻とは

大学が指定する授業科目群の中から20単位を修得した場合、これを「副専攻」と称し、当該副専攻を修了したことを見認定します。副専攻には、学部・学科等の単位で単独で認定されるものと学部・学科等が協力して学際的(横断的)に設定するものの2種類があります。

### 特定プログラムとは

主専攻以外の分野の体系的学修により、複眼的思考能力を持った問題発見・解決型の人材育成を目指した副専攻制度を、さらに発展、深化させた制度です。従って、特定プログラムの履修については、選抜試験を実施し、また選抜試験合格後は特定プログラムアドバイザーが、その履修指導を行ないます。

# プロジェクト支援

## プロジェクトサポート

チャレンジセンターは、あなたの成長を全面的にサポートします！

プロジェクトの質を高め、より大きな目標を成し遂げられるように、人・施設・資金など、さまざまな面で、きめ細かくプロジェクト活動をバックアップする体制を整えています。



### 活動スペース

ものづくり系の活動拠点として、直径33mの創造空間「ものづくり館」。大人数で利用できる会議室や、プロジェクト室も用意しています。



### コーディネーター・アドバイザー

活動全般の相談役や提出書類の作成指導を行うコーディネーターと、専門知識・技能を持ったアドバイザーが、活動に対して指導・助言をおこないます。



### 学生運営スタッフ

学生の視点からチャレンジセンターの運営改善に向けた提案や、チャレンジセンター教職員とともにプロジェクトの運営・サポートをおこないます。

【チャレンジプロジェクト】  
支援金上限:200万円

【ユニークプロジェクト】  
支援金上限:50万円



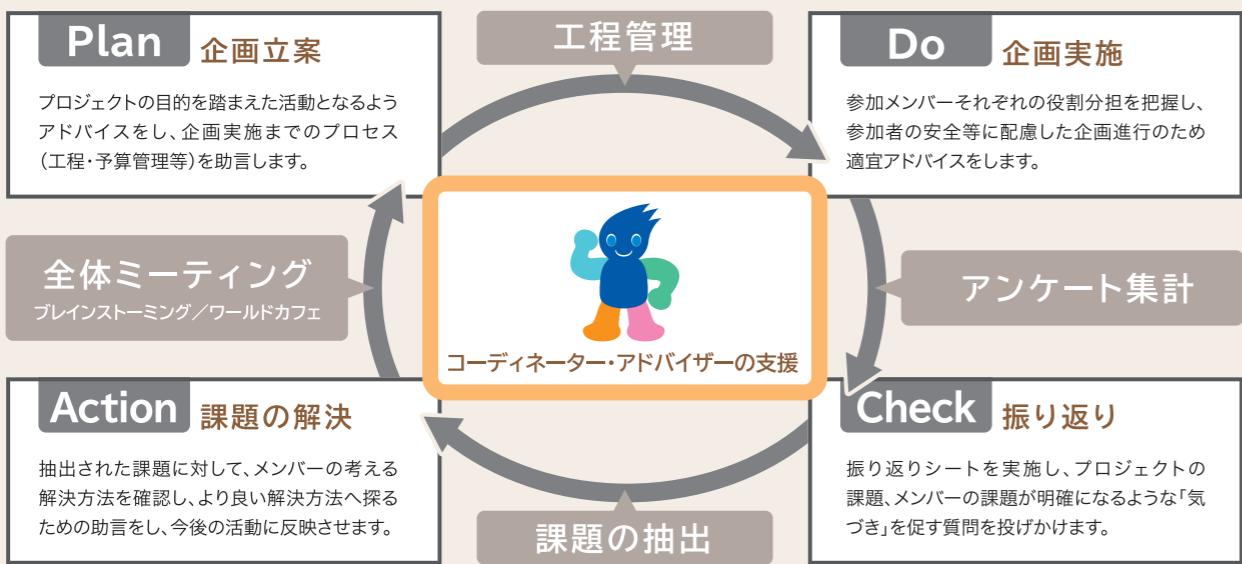
※特別申請により、企画に応じて最大1,000万円

### 支援金

企画の内容・規模・過去の実績などに応じて、プロジェクト実行に必要な支援金を提供。資金の面でも安心して活動に取組むことができます。

## 自ら考える力・集い力・挑み力・成し遂げ力 が学べます

### 企画実施のサイクル



### スキルアップのためのプログラム

#### リーダー研修

プロジェクトのリーダー、サブリーダーなどの幹部を対象としたもので、キャンパスをこえた学生同士の交流やプロジェクトリーダーの育成を通じて、各プロジェクトのノウハウや課題を共有化し、活動の活性化を図ることを目的としています。



#### プロジェクト協議会

プロジェクト活動を円滑に推進するため、プロジェクト間の情報交換、本センターからの連絡事項の伝達を行なう場として、プロジェクトリーダーが出席し、月一回開催。各キャンパスをTV会議システムで接続して行います。



#### 技術講習

「金属加工」「一般樹脂加工」の2種類について主に講習を行い、使用する工作機械の操作をはじめとして、設計、材料の選択、加工方法の相談にも応じるなど、受講学生のニーズに応じて専任の技術職員がきめ細かく指導しています。



#### プロジェクト報告会

中間報告会・最終報告会の年2回、全チャレンジプロジェクトメンバーが参加し、活動の成果や課題となった点、今後の展望などを発表します。また、最終報告会では企業の方から講評をいただきます。



## 社会的実践力を身につけた人材

社会で最も必要とされる、「人間力」が身につきます。

チャレンジセンターでの活動を通して、社会との関わりの中で「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を養い、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していくことのできる、自主的で創造的な発想を持った人材を育成します。

### チャレンジセンター所長賞

プロジェクト活動を通して、社会で活躍できる優れた力を身につけた学生に対して卒業時に授与されます。



卒業生からのメッセージ▶ P.14

# 実践 チャレンジプロジェクト

総合大学の特色を生かした多様な学生が集結。切磋琢磨しながら、目標達成に取り組んでいます。

## 地域活性

大学と地域との関係を、より身近かなものに。

湘南

### キャンパスストリートプロジェクト(C.A.P.)

この街を、もっと自慢できる街に

湘南キャンパス周辺の地域の活性化を目指して、地域と協働したイベントの企画・運営や、大学と地域をつなぐフリーペーパー「ThLive!」の作成・発行を行っています。



熊本

### 熊本地域プロデュースプロジェクト

地域の魅力を発見・発信

「観光」「農業」「スポーツ」をキーワードに、地域の様々なコミュニティと交流しながら、地域のブランド化・活性化を目指して活動しています。



### Takanawa共育プロジェクト

高輪地域の活性化を目指して

地域の清掃活動・盆踊りやお祭りなどの運営の手伝い・クリスマスイルミネーションの設営等、ジャンルにこだわらない幅広い活動をしています。

## 国際交流

世界との交流を深める、様々な機会づくりを。

湘南

### Beijo Me Liga

外国人の子供たちと文化交流

自分の国の文化や日本の文化にあまり触れ合う機会がない、日本滞在中の外国人の子供たちと一緒にキャンプなどを通じて楽しく遊んだり、文化交流することを中心活動しています。



湘南

### Tokai International Communication Club (TICC)

留学生や外国人児童を支援

大学内にいる留学生や地域の外国人に対しての支援活動を通して、国籍や文化にとらわれず互いを尊重できるような多文化共生社会の実現を目指しています。



## ものづくり

自由な発想で、優れた“もの”をつくり上げる。

湘南

### ライトパワープロジェクト

エネルギー・環境問題を啓発

ソーラーカー・人力飛行機・電気自動車の3部門のチームによって構成されています。ものづくりの楽しさや知識・技術を、国内外の大会や、社会貢献活動を通じて学んでいます。



### 東海大学学生ロケットプロジェクト

ハイブリッドロケットを研究開発

ロケットの設計・製作、搭載機器の動作試験、実験から得られたデータ解析など、すべて学生の手で実施。マネージメントや広報活動などにも力を入れています。

湘南

### Tokai Formula Club

フォーミュラカーを製作

ゼロからフォーミュラカーを製作し、全日本学生フォーミュラ大会に参戦。総合優勝を目指します。また走行会を通してフォーミュラマシンの魅力を発信しています。



### メカトロマイスター

メカトロニクスを中心とするものづくり

人の立ち入ることのできない現場を想定した救助ロボットの開発、エネルギー問題をテーマにしたソーラーカープロジェクトの2つを立ち上げて活動しています。



### 先端技術コミュニティACOT

ソフト・ハードウェアの先端技術を学ぶ

ETロボコンでの優勝を目指しプログラミング技術の向上などを目指すほか、水耕栽培によるグリーンカーテンプロジェクトにも着手しています。

# 社会貢献

地域に根ざした、継続的な活動への取り組み。

湘南

## サイエンスコミュニケーション

科学の楽しさや魅力を伝える

学生の立場から、子供たちの理科離れを防ぎ、多くの人に科学の楽しさや魅力を伝えることを目的として活動を行っています。



湘南

## スポーツ社会貢献プロジェクト

スポーツを通じて笑顔と感動を

地域の人のために、子供たちのために、高齢者のために、時には大学生のために、さまざまな活動を企画し、実施しています。



# 環境・農業

現状・実態を学び、活動を通じて発信・啓発。

湘南

## 環境キャラバン隊

テーマは「身边にできるエコ」

地域の小学生を対象に環境教室を実施。また、地域が企画する環境啓発イベントやコンテストにも参加しています。



阿蘇

## 阿蘇援農 コミュニティ プロジェクト

農業の実態を学び、  
発展を考える

農家さんがこれまで培ってきた知識や先進的な技術を学んでいます。そして、多くの農家さんが抱えている人手不足などの問題を解決するために活動に取り組んでいます。



## 阿蘇は箱舟プロジェクト

### 希少野生生物保護の最前線

希少野生生物の保護に有効な生息地管理と、阿蘇地域の希少な野生生物の画像、音声のデータベースを作ることを目的としています。

湘南

## Music Art Project (MAP)

学生の手だけでオペラ公演を実現

創作オペラの公演や東海大学医学部付属病院でのボランティア演奏など、多くの方に音楽の楽しさ、素晴らしさを伝えるための、様々な活動を展開しています。



## 福祉除雪プロジェクト

### 一年中ボランティア活動を実施

冬場は除雪や屋根の雪下ろし、夏場は庭の除草作業や引っ越しのお手伝い。高齢者世帯などを対象に1年間通してボランティア活動を行っています。



## 病院ボランティアプロジェクト

病院と、社会との関係を考える

東海大学医学部付属病院のホールを借りて患者様のためのコンサートなどを企画、運営。医療への関心や知識を高めるセミナーも開催しています。

## ユニークプロジェクト

10名以上のグループによりユニークな企画内容を実行するプロジェクトです。

### 地域連携研究プロジェクト【札幌】

ラベンダー祭りなどのイベントや地域の魅力を生かした商品を開発する

### YoYoGi Leisure Frontier【代々木】

地域の魅力を発見・創出し、SNSやフリーペーパー制作を通して、連携のきっかけを探る

### 丹沢大山・鶴巣温泉地域の観光魅力発掘創造プロジェクト(TOTOプロジェクト)【代々木】

観光魅力を発掘し、学生が企画からガイドまでを担う公募観光ツアーを実践する

### ロボP【高輪】

ETロボコン大会での優勝を目指し、組込み技術の楽しさを伝える

### CMP(Culture Messengers Project)【高輪】

日系ブラジル人社会に貢献できる活動を展開する

### 障害者自立支援プロジェクト【湘南】

「秦野精華園」と協同して施設利用者の経済的・社会的自立を目指す

### EKO・コンクリートカヌープロジェクト2013【湘南】

コンクリートで製作したカヌーで、大会での優勝を目指す

### きらきら実験教室【湘南】

理科に関する興味や関心を高めるため、工作教室などを企画・実施する

### ヒューマノイド研究プロジェクトチーム【湘南】

2足歩行ロボット大会「ROBO-ONE」で上位入賞を目指す

### Same Same But Tokai【湘南】

国際NGO「Habitat for Humanity」の学生支部として活動

### TOKAI DESIGN PROJECT【湘南】

「TOKYO DESIGNERS WEEK 2013」(TDW)に出演する

### DAN DAN DANCE プロジェクト【湘南】

異なるダンスジャンル・年齢層と公演活動を運営する

### Tokai University Health Promotion【湘南】

栄養・食生活の改善など、健康教育を推進する

### HRE-Airplaneプロジェクト【湘南】

世界初の水素燃料ロータリーエンジンラジコン飛行機を完成させ、航空フェスティバルに出場する

### ライトフレーンプロジェクト【湘南】

飛行ロボットコンテストでの優勝を目指す

### 橋をかけるプロジェクト【湘南】

若い世代がボランティアに取り組むきっかけをつくる

### 海の森プロジェクト【清水】

魚型水中ロボットを用いて、地域環境などへの出展や講演を行う

### ワンドフル・マリンアニマルズ【清水】

海藻の海をつくり、海や環境問題についての理解を促進する

### 三保活性化プロジェクト【清水】

地域の人々と協力して三保地区を活性化する

### 夢工房【清水】

多くの人たちにものづくりの楽しさを知らせる

### 肥後のたまもの【熊本】

ウェブサイトを通じ、熊本のよさを発信し地域に貢献する

### "sync"スポーツ【熊本】

スポーツでの交流を通して生活を豊かで生き生きとしたものにする

### あにまるれすきゅープロジェクト【阿蘇】

不幸な犬猫を減らすため、愛玩動物を取り巻く社会情勢や現状を発信する



# プロジェクト学生の一日



湘南校舎  
教養学部2年  
**Tokai International Communication Club所属**

TICCの存在を知った時、私がやりたいことをするのにピッタリな場所だと思いました。今はサブリーダーとしてメンバーをまとめることがとても大変ですが、TICCは目標と課題を与えてくれ、やりがいや達成感を味わえる場所で、本当に充実した大学生活を送っています。

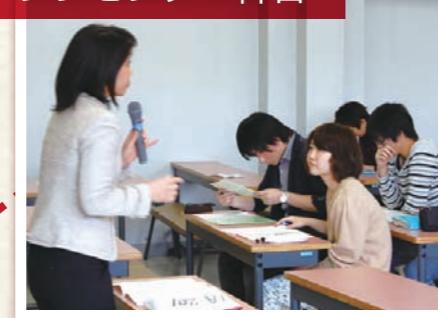
## プロジェクト活動



TICCは、地域の外国人や学内の留学生を対象にした国際系ボランティア団体です。留学生との交流会の開催や、地域の外國につながる子ども達への学習支援など、多文化共生社会を目指すために様々な活動をしています。留学生が笑顔になって、日本のことをもっと好きになってくれた時、本当にTICCをやっていて良かったと思います。

7:00 起床  
8:00 登校  
9:20 1時間  
学科開講科目  
11:05 2時間  
チャレンジセンター科目

### チャレンジセンター科目



2時間目は堀本先生の「集い力入門」の授業。  
いつも指定席は教壇の前!  
今日は映像資料を使った講義でした。

13:00 昼食  
13:25 3時間  
学科開講科目

### プロジェクトメンバーとランチ



プロジェクトメンバーと一緒にランチ。  
天気がいい日はテラスで食べると気持ちがいいんですよ。  
外国人留学生と一緒にランチを食べる時もあります。

16:00 コーディネーターとの打合せ

### コーディネーターとの打合せ

コーディネーターの方と次の企画の打ち合わせ。  
企画の内容が甘いと厳しい一言を頂いたりしますが、  
不安なこと、困った事、解らないこと、些細なことでも  
親身になって聞いてくれます。

17:00 チャレンジプロジェクト

### チャレンジプロジェクト

20:00 帰宅

24:00 就寝

# 卒業生からのメッセージ

自ら考える力・集い力・挑み力・成し遂げ力を身につけ、  
社会で活躍する先輩たち

**Music Art Project OOG**

### 松ヶ野 崇和子さん

教養学部 芸術学科  
2012年度卒業



たくさんの経験を通じて、自分の言動に自信と責任が持てるようになりました。

プロジェクトを通じて社会と関わることにより、多くの失敗を経験しました。その中で一緒に乗り越えた仲間がとても大切であると感じました。私自身も失敗から多くのことを学び、成長して自信がつきました。今、出版広告業に携わっていますが、学生時代に書類作成や広報活動を行っていたので、仕事に対して積極的に取り組むことができます。私は大学で多くのことを経験できました。高校時代と違い、好きなことを学べるからこそ、何かひとつ頑張れることを見つけてください。



**Tokai Formula Club OOB**

### 都築 義幸さん

工学部 動力機械工学科  
2011年度卒業



卒業してからも頼ることのできる一生の友人ができました。

プロジェクトは常に自分たちで切り開いていくことばかりなので、取り組みに対するフットワークの軽さ、壁にぶつかったときに最後まで諦めない粘り強さは誰にも負けません。楽しい事も辛い事も共に経験することで、信頼し合える最高の仲間もできました。プロジェクト活動に参加することで、卒業したときに自分が何をやってきたのか、胸を張って言えるようになります。学生の皆さんも、常に"夢"をもって、必要だと思ったことは、どんなことでも挑戦してください。気持ちがあれば夢は叶う!!



**病院ボランティアプロジェクト OOB**

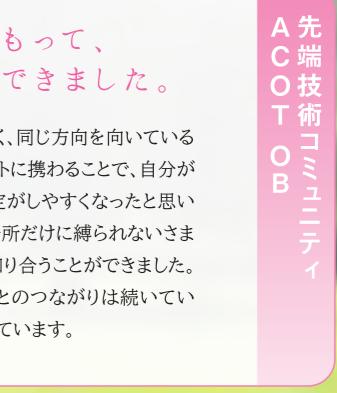
### 山田 裕樹さん

文学部 心理・社会学科  
2012年度卒業



未来を信じる心の強さが不可能を可能にする。  
大切なのは最後まで諦めないことだ。

院内コンサートを行った時、患者さんから「絶対にガンを克服しようと思いました。ありがとうございます。」といった言葉をいただいた時は、自分は人の人生や命に関わることの出来るかけがえのない活動をしているのだといました。大学生活は、様々なことに挑戦できる時間です。今の自分では想像もできないような自分になれば、まだ気づいていない自分の可能性を開花させることができます。様々なものに関心を持ち、興味を持ったものには勇気を持って踏み出してください。



### 塙本 大祐さん

産業工学科  
電子知能システム工学科  
2011年度卒業



目標すべき明確な目標をもって、  
学べる場所を得ることができました。

ただ漠然と大学生という立場になるのではなく、同じ方向を向いている学生が集まるチャレンジセンターのプロジェクトに携わることで、自分が学ぶ理由や動機付け、目標すべき目標の設定がしやすくなった思います。またプロジェクトを通して、大学という場所だけに縛られないさまざまな場所での活動ができ、さまざまな人と知り合うことができました。今、大学を卒業してからもそういう方たちとのつながりは続いている、今後もずっと学んでゆくための土台になっています。

**先端技術コミュニケーション ACCOT OOB**